

ご意見・ご要望・ご感想などへの回答

- 人口減少のため、現在、今までの慣例による会合とか、団体、～協会とか、町内会、お寺、農会、その他、多岐にわたり役が多すぎると思います。一度全て止めて、本当に必要なものを整理出来ないものでしょうか？

⇒ 自治会（地域の組織体）は日本特有のシステムであり、これまでのまちづくりに一定の効果を出してきた社会資源であることは疑いの余地はありません。また、行政とのパイプ役、行政サービスの一端を担い、行政の効率性も図っておられます。

しかし、社会構造が大きく変わっている現在、全国一律的な自治会活動では、立ちいかななくなっているのは事実であります。高齢化による負担増加、高齢世代とそれ以外の世代との意識や使える機器の差、行政サービス補助として担う自治会機能の限界等について、改革しなければ、自治会という社会資源自体が機能しなくなるところまで来ています。

今後は、若者が帰属意識を高め、自治会に依存できるような「街」をつくることへの取り組みについて目を向ける必要と、高齢者がこれまでの自治会活動の慣習にとられない補完策を素直に受け入れる必要があると考えます。

- いつもありがとうございます。

⇒ 今後も、市民の皆さまの負託にこたえられるよう、全力で頑張ります。

- 議員1人1人がどんな活動をしているのか解らない。独居老人や高齢者だけの世帯の生活面の苦勞、道路の細い道や交通の便の悪い地域の人々の外出方法。空屋問題などもっと活動している姿が見たいです。安定収入のある議員と違い、市民は貧しさの中で、世間の色々な変化で耐え忍んでいる人達が多くいる事をもっと知ってほしい。

⇒ 実際に活動不足という面もありますが、なかなか見えにくい部分もあります。待っているだけでなく、積極的な働きかけも今後充実させていただきたいと思います。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民生活や地域経済にも多大な影響を及ぼしていることは重々理解しております。そのため、令和2年6月支給分の議会議員の期末手当については、全額減額し、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つための対策の財源としていただきました。

- 議員の方でも、まじめに親身に取り組んでいる方はいいと思います。本当に洲本市の事を将来を思って頑張ってください。このようなアンケートを行う事は、とても良い事だと思います。出来ればアンケート集約結果を取りまとめたものを、広く市民に返して頂ければ大変ありがたいと思います。返し方の方法は、どんなものでも良いと思いますが、アンケ

ートの取りっぱなしだけではダメであり、やはり返しが必要と思います。そうする事によって、議会と市民の対話や、絆が生まれて行くと考えます。

⇒ 今後も、市民の皆さまの負託にこたえられるよう、全力で頑張ります。また、ご協力いただきましたアンケートにつきましても、納連合町内会に報告させていただき、議会ホームページにて掲載させていただきます。

・引き続き、市政・行政のチェック機能を強化してほしい。

⇒ 今後も、市民の皆さまの負託にこたえられるよう、全力で頑張ります。

・市議会においても、言いつぱなしで終わっている感じがしている。本当に市政の事を考えている議員が少ない様に思える。単なるサラリーマン化した給与をもらう事が目的としか見えない。

⇒ さらなる議会の見える化に取り組み、ご指摘いただきました内容については、議会だよりにて、その後どうなったのかということも掲載していきたいと考えております。

・町内単位で議会・市政報告会及び意見交換会を行って頂きたい。

⇒ 現在、連合町内会単位で議会報告会及び意見交換会を開催させていただいておりますが、今後、検討していきたいと思っております。

・議会だよりも、時々読んでいますが〇〇という質問をしました。〇〇という提案・提言をしました。これに対して行政からは〇〇という答弁がありました。ただそれだけの記事・内容だけのものであり、ほとんど意味は無いゆえに、誰も読まないのではないか。一番大事な事は、その結果がどうなったのか、今度どう対応して行くのか、どう戦略を立てて行くのか等、先の展望が全く無いので興味がわからない。

⇒ さらなる議会の見える化に取り組み、ご指摘いただきました内容については、議会だよりにて、その後どうなったのかということも掲載していきたいと考えております。

・これまで以上に議会の役割や活動を分かりやすく知る工夫をお願いします。

⇒ さらなる議会の見える化に取り組み、ご指摘いただきました内容については、議会だよりに掲載していきたいと考えております。

- 報告会全体を通して、漢字言葉が多く、実感として理解しにくい印象を受けました。報告している議員さんの話し方はゆっくり丁寧に聴きやすかったです。

⇒ ご視聴ありがとうございます。専門用語を言い換える形をとった結果、漢字言葉が多くなってしまいました。次回、オンラインにて報告を行う際には、漢字言葉を少なくするようにいたします。

- 議員の数の削減をしてほしい!!

⇒ 議員定数を削減することのメリットとデメリットを考えなければならないと思います。

メリット：より政策の定まっている人や能力が高いと判断される人だけが選挙で選ばれるようになるかもしれません。また、議員報酬の総額が減ります。さらに、議員が減れば、話し合いがスムーズに進み、結論を早く導きだすことができるようになります。

デメリット：民意を反映させづらくなります。また、削減することにより議員が身近にいない地域では関心が薄れ投票率の低下を招く恐れもあり、現職議員強みが増し、若年層の進出が難しくなります。さらに、市議会では、市長や行政機関、行政職員を牽制する役割もありますが、その力が弱まれば、市民に不利益がもたらされる可能性もあるという調査結果もあります。

この議員定数の削減については、慎重に進めなければならないことと考えております。

- この動画は議会の各委員会の役割りが分かりやすく良かったです。今後も、議会の仕組みや行政サービスにどのようにつながっていくのか、分かりやすく動画で説明してもらった方が、議会を身近に感じ、市政に感心も高まります。

⇒ ご視聴ありがとうございました。さらなる議会の見える化に取り組み、議会を身近に感じていただけるよう邁進いたします。

- アンケートは今の時代、スマホ又はパソコンでしたいです。

⇒ 令和元年度まで、議会報告会と議会懇談会は各連合町内会に赴き対面式で開催させていただいておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によりこの度は、動画配信にて報告に代えさせていただきました。そのため、共催いただきました、納連合町内会の皆さまにはアンケート用紙を特別に配布させていただき、ご意見・ご要望を伺う機会を設けさせていただきました。

なお、納地域以外の方にはオンラインにてアンケートを実施させていただきました。

- 自宅前の道路が悪い。補修して下さい。
- 道路をもう少し通り良くして対向も出来る用な市道に力を入れて欲しい。
- 1) 納町内会は道が狭い。2) 緊急車が入りにくい。拡張してほしい。
- 3) 国土調査。青線が少ない。

⇒ 建設課では市道の維持管理として、職員によるパトロールや地域の皆様からの通報、修繕要望などにより、現地を確認したうえで、それぞれ対応しております。

地域の皆様からの要望は数多くお聞きしておりますが、現地の状況に応じて、危険度、緊急性などを判断し、適正管理に努めているところです。

また、地域の生活環境や利便性向上を図ることを目的とする道路改良工事については、地域からの要望などに基づいて事業化していますが、市内全域から同様の要望があるため、現地の状況や地域の協力体制などを総合的に判断したうえで事業決定しております。

参考に納地域での事業実施の状況をお知らせいたします。

路線名等	事業年	工事内容
長瀬横道線	平成 28 年～29 年	道路改良工事
納長手線	令和 3 年～	道路改良工事
納本村線	令和 2 年～3 年	道路修繕工事
岸川線	令和 3 年	道路修繕工事
長瀬橋	令和 3 年	橋梁補修工事

なお、修繕要望や道路改良要望の全てを、直ちに対応することは難しいと考えますが、連合町内会長を通じて相談いただきますようお願いいたします。

- 農業用水確保と、防災を目的とする ため池の改修費の大幅増を市に強く働きかけてほしい。いつも市民の福祉充実、安心安全のためご尽力頂きありがとうございます。

⇒ 本市では、もし決壊した時に、下流の人家や公共施設などに被害を与える恐れのある防災上、重要なため池が 470 箇所あります。そのうち、これまでの点検の結果、早期に整備が必要なため池が約 240 箇所あり、改修工事が急がれています。

納地域におきましては、現在ため池改修に向けての概略設計を行う「調査計画」を終えているため池が 4 箇所(三谷中池、三谷下池、岡谷池、鴨根池)ございます。

参考になりますが、市内全域で納地域の 4 箇所を含めると 12 箇所となっております。その中で、ため池の堤体の漏水状況、浸食状況、そしてため池下流の人家や公共施設への影響を考慮して、今後 10 年以内に優先順位をつけて整備を計画しているところです。しかし国の予算措置等の事情により整備が後年度にずれ込む可能性がある事を付け加えさせていただきます。

また、軽微な修繕、補修については、多面的機能支払交付金事業、市単独土地改良事業を活用して頂きたいと考えています。